

令和3年度

**SOZAN**

**Global Can-do List**



岡山県立岡山操山中学校・高等学校

WWL課 GLOBAL STUDIES

令和3年4月

## SOZAN Global Can-do List (教科: 国語)

目的・生徒像 (教科)		認知のスキル					
(高)豊かな心情と広い視野を持って、国際社会における国家の基盤としての国語を尊重し、その継承と向上を図ることのできる生徒 (中)豊かな心情と広い視野を持って、国際社会における国家の基盤としての国語を尊重することのできる生徒		自身が所属する社会の幸福を築くことができる			非認知的スキル (社会情動的スキル)		
育成する資質能力		①幅広い深い知識			②問題発見・解決能力		
		③新たな価値を創造する力			④主体的に行動する力		
		⑤他者と協働する力			⑥自己を尊重する心		
H3	【現代文】 常用漢字の読み書きに習熟するとともに、自身を取り巻く様々な価値観が近代的な知の枠組みに依存して成り立っていることを理解することができる。 【古典】 古典文法や古文単語に関する知識が定着しており、辞書等をほとんど使用せずに、物語・日記・随筆・評論等の文章を読み、作者の心情を読み取り、他の作品と比較して、作品世界を理解することができる。入試問題レベルよりも難しい漢文を自分の力で読むことができる。	【現代文】 様々なジャンルの評論を通じて、前近代、近代、後近代それぞれの立場や思想に関する理解を深め、課題を多面的な視点で捉え、解決策を導くことができる。 【古典】 古典に表現されている先人たちの価値観を理解した上で、現代社会における人間の生き方や価値観と比較し、そこから課題やテーマを設定して考えや意見を深めようとする事ができる。	【現代文】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連づけて自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。 【古典】 古典作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方の相違を追究することによって、新たな価値を創造することができる。	【現代文】 様々な考え方ができる事柄に関する発表や討論の際に、それぞれの立場を尊重しながら相互の意見交換が円滑に行われるよう取り計らうことができる。 【古典】 グループ活動などの場面で、グループ内や他のグループの意見を聞き取ることに加え、既存の研究なども参考にして、よりよいものを生み出すことができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品に関する意見や感想を話し合ったり、文章化して相互に批評し合ったりすることができる。 【古典】 グループ活動での話し合いなどを通じて互いの意見を交換し、古典に関する共通理解や共通認識を作り上げることができる。他者の意見を聞きとって理解し、相互に伝え合うことお互いの理解を深めることができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品を学び、意見や感想を文章化する活動を通じて、言論によって社会とつながりを持つことのできる。 【古典】 古典を読んで学んだことを基に、よりの社会の在り方や自己と社会との関わり方について考察し、その内容を発信したり実践したりしようとする事ができる。	
H2	【現代文】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章の読解を通して、ものの見方、感じ方、考え方を多面的視野を広げることができる。 【古典】 各品詞についての知識が定着しており、敬語について一通り理解している。古典の背景に関する知識を基に、物語・日記・随筆などの古文を、一部辞書を用いながら読んで理解することができる。「君子百家」や大学入試問題レベルの漢文を読んで理解することができる。	【現代文】 様々なジャンルの評論を通じて、近代を中心とした前後の時代背景や現代の思想的特徴を理解し、そこから現代社会の課題について考え、今の社会の在り方を見直そうとすることができる。 【古典】 古典を読むことを通じて学んだ先人たちの知識や感性・価値観を基に、現代社会の在り方を見直そうとすることができる。文章の中から自分なりの課題やテーマを設定し、解決に向けて考えることができる。	【現代文】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【古典】 古典作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。	【現代文】 発表や討論の場で、テーマについて自他の異なる考えを尊重しながら互いの意見を交換し、考察を深めるよう努めることができる。 【古典】 グループ活動などの場面で、グループ内や他のグループの意見を聞き取り、一つにまとめることができる。	【現代文】 様々な文章や文学作品を読んで、自分なりの意見や感想を持ち、それを発表や討論の場で的確に表現し、また相手の意見にも耳を傾けることができる。 【古典】 古典の表現や背景の知識に基づいて、古典の内容や魅力についてグループで議論することができる。グループで議論を通して、他者の意見を聞き、それを踏まえて自分の意見を伝えることができる。	【現代文】 様々な文章を通じて社会に対する理解を深め、自己と社会の関係について考察し、社会の一員としての自分を意識することができる。 【古典】 古典を古典を読むことで、先人の生き方や社会との関わり方を学び、その内容を表現しようとする事ができる。古典の世界を通じて、自己と他者との在り方、ひいては社会の在り方について建設的に考えることができる。	
H1	【国語総合】 常用漢字の読み書きが定着するとともに、近代以降の様々な文章に触れ、読解力を身に付けることができる。 【国語総合】 動詞・助動詞・助詞等の各品詞について一通りの知識を持っており、辞書・文法書を用いながら古文を読み進めることができる。漢文訓読の基本的知識を身に付けており、「君子百家」等の文章を読んで理解することができる。	【国語総合】 様々なジャンルの評論を通じて、現代社会や人間の在り方における課題について知り、問題意識を持つことができる。 【国語総合】 古典の文章に表現された思想や感情を読み取り、人間、社会、自然等について考察し、見識を深めようとする事ができる。	【国語総合】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけることができる。 【国語総合】 古典作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方の中に共通するものを見出し、我が国の言語文化に親しみをもつことができる。	【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについて複数の考えを分類したり統合したりできる。 【国語総合】 発表や討論の場で、テーマについて複数の考えを分類したり統合したりできる。	【国語総合】 様々な文章を読んで自分なりの意見や感想を持ち、それを適切に他者に伝えたり他者の意見に耳を傾けたりすることができる。 【国語総合】 ペアワークやグループ活動、発表会等の場面で、自分が古典から読みとった内容や魅力について他者に的確に伝えることができる。	【国語総合】 様々な文章を通じて社会に関する知識を得ると共に、社会における自己の立場や役割を知ることができる。 【国語総合】 古典を古典を読むことで、我が国東洋文化圏の伝統や文化に関する理解や関心を深めることができる。	
J3	【授業】 ・様々な説明文や文学作品を読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の思いを文章化することができる。 ・複数の文章を比較して読み、共通点や相違点、表現の特徴を捉え、自分の考えを深めることができる。	【授業】 ・課題について様々な角度から考え、多様な意見の共通点を見いだして、より建設的な意見を提案することができる。 ・課題を解決するために、他の発表の内容・構成を構造化してメモし、根拠の有無や論点、表現の工夫を捉え、評価することができる。	【授業】 ・文章を読み、職業や社会の仕組み、生きることについて見方を広げ、自分の立場に置き換えて、考えを他者に分かるよう論理的に記述することができる。	【授業】 ・グループ学習において互いに協力しながら与えられた役割を果たし、積極的な活動に取り組みすることができる。 ・求められている発表時間を守り、聴衆を惹きつけるような工夫をするために、粘り強く取り組むことができる。	【授業】 ・率先して司会を務めたり、ホワイトボード等を活用して班員の意見をまとめたり、積極的に意見を出したりとすることができ、中心となって活動を進めることができる。 ・グループのメンバー全員が活動に参加できるように気を配ったり、様々な立場からの意見を尊重したりするなど、集団の中で周囲と協調しながら活動を進めることができる。	【授業】 ・文章を読み、職業や社会の仕組み、生きることについて、自分の立場に置き換えて考え、他者への貢献の思いを文章化することができる。	
J3	【古典・言語事項】 ・和歌や論語の学習を通じて、自然観や人間観についての認識を深め、自分の生き方につなげることができる。	【弁論】 ・常に社会の問題にアンテナを張り、その原因を見極め、誰かが納得する解決策を提案できる。 ・他者の意見を自分なりに置き換えて考え、いろいろな視点から課題の解決策を複数考えることができる。	【古典・言語事項】 ・古典作品の学習を通じて、自身の生活を見つめ直し、社会に貢献するための理想的な将来像を描くことができる。	【弁論】 ・弁論の原稿読みを繰り返し行うことで、声の抑揚や音量の改善を行ったり、より論旨が明快になるよう原稿を推敲したりすることができる。 ・自分とは異なる意見であっても、自己の認識を深めるために傾聴することができる。	【弁論】 ・ペアで発表練習を行い、読む速度や声の音量の改善点、論の矛盾などを指摘し合うことができる。 ・他者の発表を的確に評価できるよう、論理の明確さや感銘度、表現力などの観点にたがって聞くことができる。	【古典・言語事項】 ・和歌や論語の学習を通じて正しい古典を身につけ、社会の一員として生きていくための素養を身に付けることができる。	
J3	【書写】 ・現代の書道作品など、身の回りにも多様な文字に触れて日本語に関心を持ち、効果的に文字を書くことができる。	【弁論】 ・一般論を踏まえた上で独自の意見を持ち、自分の体験と関連付けながら、より良い社会実現に繋がる提案をすることができる。	【弁論】 ・一般論を踏まえた上で独自の意見を持ち、自分の体験と関連付けながら、より良い社会実現に繋がる提案をすることができる。	【弁論】 ・相手の論をグループで協力して素早く比較・検討し、具体的な根拠を原して的確な反駁ができる。	【弁論】 ・反対意見を受け入れながら、自分の意見を発展させることができる。	【弁論】 ・感情的な批判でなく、相手の論理の矛盾や飛躍から論理的な反駁をすることができる。	
J2	【授業】 ・現代社会に関する説明文を読み、文の構造を捉え、筆者の論を要約して記述することができる。 ・近代の文学作品を読み、その主題を捉えて自分の考えを持つことができる。	【授業】 ・現代社会に関する説明文や近代の文学作品を読み、社会生活のなかから課題を探し、自分はどうあるべきかについて考えを持ち、文章化することができる。	【授業】 ・現代社会に関する説明文や近代の文学作品を読み、自分の価値観と比較する中で考えを深めることができる。	【授業】 ・グループ学習において互いに協力しながら与えられた役割を果たし、積極的な活動に取り組みすることができる。 ・適切な言葉や表現の工夫について考え、推敲することができる。	【授業】 ・的確な反応によって多くの意見を引き出したり、論点を整理して軌道修正したりすることができる。 ・より良い生活を提案することができる。建設的な提案ができる。	【授業】 ・文章を読み、家族や平和・文化などについての見方を広げ、社会の一員としての自分の役割について考え、文章化することができる。	
J2	【古典・言語事項】 ・随筆や漢詩の学習を通じて、現代に通ずる問題や感性を捉え、自分の考えを深めることができる。	【弁論】 ・社会や身の回りの出来事から課題を見付け、それを解決するための方法を考え、他者に分かりやすく伝わるように文章化することができる。 ・他の発表を熱心に聞き、課題意識を持つことができる。	【古典・言語事項】 ・随筆や漢詩の学習から、古人の見方・考え方に触れ、自分の見方・考え方の共通点や相違点についてまとめることができる。	【弁論】 ・弁論の原稿読みを繰り返し行うことで、声の抑揚や音量がより良くなるように、自分の発表を改善することができる。	【ディベート】 ・相手の論をよく聞き、グループで協力し質疑や反駁の内容を構築することができる。 ・立論や反駁の資料作成のために、分担して効率よく情報収集ができる。	【弁論】 ・相手の発表を傾聴し、自分の体験や考えを表現することで、社会の一員としての自己について考えを深めることができる。	
J2	【弁論】 ・様々なテーマについて、他者の体験や考えに触れることで、視野を広げることができる。	【ディベート】 ・与えられた論題について、肯定と否定の両方の立場から多面的に分析をして立論を組み立てることができる。	【弁論】 ・世論や一般的な考えを踏まえた上で独自の意見を持ち、より多くの人の幸せにつながる提案ができる。	【ディベート】 ・相手の論をグループで協力して素早く比較・検討し、具体的な根拠を原して的確な反駁ができる。	【ディベート】 ・相手の論をグループで協力して素早く比較・検討し、具体的な根拠を原して的確な反駁ができる。	【ディベート】 ・感情的な批判でなく、相手の論理の矛盾や飛躍から論理的な反駁をすることができる。	
J1	【授業】 ・専門用語が出てくる説明文や日本国内外の文学作品など様々な文章を読み、内容を的確に捉える能力を身に付け、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする事ができる。	【授業】 ・課題について、文章中の内容を踏まえた上で自分の考えを伝えるとともにグループで出た意見を参考にしながら、よりよい答えを見つげようとする事ができる。	【授業】 ・文章を読み、自分と社会の間に関わり、人と自然の関わりなどについて考え、自分の考えを文章化することができる。	【授業】 ・グループ学習において与えられた役割を果たし、積極的な活動に取り組みすることができる。 ・よりよいスピーチができるように練習を繰り返し、原稿を覚えて発表することができる。	【授業】 ・率先して司会を務めることができ、話し合いが円滑に進むように意見を出したり出た意見を言い換えて、グループの意見をまとめることができる。	【授業】 ・グループ学習において、他者の意見を尊重しながら、自分の意見を述べることもできる。場面に応じた態度、声の大きさを話することができる。	
J1	【古典・言語事項】 ・古典作品に触れ、日本の文化や言葉に親しむとともに、今も昔も変わらない価値観について考え、文章化することができる。	【弁論】 ・身の回りから課題を見付け、それを解決するための方法を考え、他者に分かりやすく伝わるように文章化することができる。	【古典・言語事項】 ・物語や故事成語などを通して、昔から伝わる教訓の現代における意義について考えることができる。	【弁論】 ・身の回りのできごとや注目に値する出来事を見付け、それを他者に分かるように推敲しながら文章化することができる。	【ディベート】 ・相手の論に伝わるように話すスピードや視線・ノンバーバル等の技法を適切に使い、話すことができる。 ・相手が言うことを素早く書き取ることができる。	【弁論】 ・他者の発表を聞き、様々な考えに触れることで、自分の価値観を文章化することができる。	
J1	【ディベート】 ・論題について異なる意見を持つ相手と、理性的に議論を深める方法を理解できる。	【ディベート】 ・与えられた論題について、肯定と否定の立場からメリットとデメリットを考え立論を組み立てることができる。	【弁論】 ・社会情勢などに目を向け、前向きな考えを持って他者に伝えることができる。	【ディベート】 ・立論を組み立てるにあたって、積極的・インテナーネットや書籍による調べ学習を行い、様々な資料を収集できる。	【ディベート】 ・立論を組み立てるにあたって、積極的・インテナーネットや書籍による調べ学習を行い、様々な資料を収集できる。	【ディベート】 ・周囲に気を配りつつも、自分と与えられた役割をしっかりと果たすことができる。	

# SOZAN Global Can-do List (教科: 中学校 社会)

目指す生徒像 (教科)							
我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒							
認知的スキル			非認知的スキル (社会情術的スキル)				
自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる				
①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心		
J3	<p><b>【歴史的分野】</b> 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、近代・現代における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p> <p><b>【公民的分野】</b> 現代社会についての見方や考え方の基礎、現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを理解し、その知識を身につける。</p>	<p><b>【歴史的分野】</b> 近代・現代における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p><b>【公民的分野】</b> 現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを、解決すべき課題の解決策を、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して、多面的・多角的に考察し様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p><b>【歴史的分野】</b> 近代・現代における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p> <p><b>【公民的分野】</b> 公正と公平、対立と合意といった社会的なものを見方考え方を元に、現実社会で起こりうる諸問題に対して、互いの価値観を尊重する態度と、物事の見方を身につける。</p>	<p>学習した内容を整理して、自分なりのノートを作成することができる。</p> <p>自分の興味を持ったことについて、自ら進んで調べることができる。</p>	<p>グループ学習などで他者の意見と自分の意見を比較して、他者の意見を参考にしながらグループの意見を集約し、考えをまとめることができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発表・発言を積極的にすることができる。</p> <p>自身や他者の意見や考えを客観的にとらえて、その良いところを見つけ出すことができる。社会的な見方考え方を身につけ、社会に対する興味関心を高め、国際社会を形成する社会の一員としての自覚を持つことができる。</p>	
J2	<p><b>【地理的分野】</b> 世界の中での日本の位置、日本の領域の広がりとその現状・課題、日本の地域構成やさまざまな地域区分について理解し、それらの知識を身につける。</p> <p>世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」を理解し、その知識を身につける。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、近世・近代における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p>	<p><b>【地理的分野】</b> 地球表面上における時差の存在、世界の中での日本の位置や広がり、日本国内のさまざまな地域区分の指標について、多面的・多角的に考察・判断し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p>世界と比べた日本の地域的特色を「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の観点をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 近世・近代における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p><b>【地理的分野】</b> 日本の地域的特色を世界的な視野や日本全体の視野から見ることで、自分たちの住む国や地域についての価値を認識し、生かしていく方法を考えることができる。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 近世・近代における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p>	<p>板書されたことをノートに記述するだけでなく、先生の話や自分で調べた事柄などを参考に、学習した内容を自分なりに整理したノート作りをすることができる。</p> <p>調べ学習では与えられたテーマを元に、必要な資料を自分で見つけ出し、まとめることができる。</p>	<p>グループ学習などで他者の意見と自分の意見を比較して、他者の意見を参考にしながら自分の考えをまとめて答えを導き出すことができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発表・発言を積極的にすることができる。</p> <p>自身や他者の意見や考えを客観的にとらえて、その良いところを見つけ出すことができる。</p>	
J1	<p><b>【地理的分野】</b> 世界の六大陸、三大洋を捉えるとともに、主要国の名称と位置や緯度と経度のしくみ、さまざまな世界地図の特徴を理解できる。</p> <p>世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすと変容を理解し、その知識を身につける。</p> <p>各州を大観する学習を通して、基礎的・基本的な知識を習得し、主題追究学習により、各州の地域的特色を理解して、世界の諸地域についてのイメージを構成できる。</p> <p>調査対象の国や地域の調査について、地域的特色とともに、世界の国や地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につける。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、古代・中世における各時代の特色を踏まえて理解し、その知識を身につける。</p>	<p><b>【地理的分野】</b> 国名や国旗、国境線の特徴などから、これらがさまざまな地理的事象と密接に関連していることを多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけた人々の生活のようすとその変容をもとに、多面的・多角的に考察し、適切に判断することができる。</p> <p>各州の地域的特色を明確にする主題を追究し、わが国との比較や関連をはかりながら、多面的・多角的な思考や判断を行うことができる。</p> <p>調査対象の国や地域の地域的特色を捉える適切な主題を設定して、世界の地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 古代・中世における歴史的事象から課題を見だし、我が国の歴史の大きな流れや各時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p><b>【地理的分野】</b> 世界の諸地域の学習や自然環境についての学習を通して、一般的共通性と地域的特殊性を理解し、ある特定地域の地理的事象について理解を深め、課題を見つけ、解決する方法を考えることができる。</p> <p><b>【歴史的分野】</b> 古代・中世における歴史的事象を、当時の主観的な視点と現在からの客観的な視点で俯瞰し、歴史的事象の歴史的意義と意味を理解し、これからの未来のために必要な価値基準を考えることができる。</p>	<p>板書された記述をノートに書くだけでなく、自分なりに気づいたことをメモするなど、工夫してノート作りができる。</p> <p>テーマに沿った調べ学習をして、自分で資料をさがして完成させることができる。</p>	<p>グループ学習などを通して、他者と意見交換を行ったり、教え合いや分担作業など協力して行うことができる。</p>	<p>他者の発言・発表を肯定的に受け入れることができ、自分の発表・発言を積極的にすることができる。</p>	